

検証報告

◆OS（3 種）

Windows 10

Windows 8.1

Windows 7

*スペックの詳細は別紙をご覧ください。

◆ユーザ（3 名）

9022050-029 男性

9022049-215 女性

9022048-482 女性

◆音声データ

特に問題等は見受けられませんでした。

雑音の混入やハウリング等はなく、全てクリアな状態で保存されております。データ欠損もなく、検証した人数分の全ての設問において、回答データの回収ができました。検証中の気になる点も特にございません。

回収データは USB メモリをご確認ください。

（検証前の動作確認の過程で保存されたファイルも含まれていますが、最後に作成されたファイルが検証結果となります。）

◆今回調査を実施した結果、生徒数の 2 % 弱で一部又は全部が採点できない状態となっていて、音声データの状況別に以下の 3 パターンがあります。

1. 回収用 USB メモリ内に調査を実施した記録があり（＝生徒番号のフォルダがあり、ログが残っている）、全設問の音声データが作成されたものの、音声データの全部または一部が機械音の混入等により聞き取り不能で採点できない状態

→全て聞き取り可能な状態で保存されています。雑音の混入はございません。

◆2. 回収用 USB メモリ内に調査を実施した記録があるものの、設問ごとに作成される音声データの全部または一部が作成されておらず採点できない状態

→全て設問ごとに音声データが作成されています。

- ◆3. 回収用 USB メモリ内の音声データ数が当該学校における調査実施者数（学校申告）に比して不足している状態（学校が申告した人数分の音声データが回収用 USB メモリ内に保存されていない状態）

→3 名分全てのデータが作成されております。

◆仮説 2 点について

- ・ Window10 では発生しないが、Windows8.1 の一部の端末で、ヘッドセットをさしても内蔵マイクは切れず、両方が機能してしまい、ハウリングを起こして、音声うまくとれない端末があるのではないか（特に内蔵マイクとの位置に近いタブレット型の端末で顕著）
（Windows7 では試せていない）

→内蔵マイク搭載のノート PC、Windows8.1 と Windows7 のテスト環境で、「システム」>「サウンド」>「録音」の状態を見ながら、ハンドセットを挿してみたところ、内蔵マイクが自動的に OFF になりました。
検証中も内蔵マイクは OFF の状態だったと思われます。
Windows10 のテスト環境には内蔵マイクはありません。

- ・ 無音状態が続くとマイクのボリュームが大きくなるような自動調整機能が、一部の WindowsOS で実装されているため、無音状態の後に話すと、ボリュームが大きくなった影響でハウリングがひどくなり音声がとれないのではない
か

→無音状態を作ってから、発音を開始する状態を試しましたが、ハウリング等は発生しておりません。